

教科 科目	国語 国語 3	学 年	3年	単 位	5単位	担 当	恒住典子・岩崎勇太・ 野見山和也
【科目の概要】 国語としての日本語を正しく身に付け、理解し、その運用能力を高めることを目標としています。具体的には、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことに興味を持ち、意欲的に取り組み、自分自身で考え、論述・発言できる力を身につけられるように学習します。							
【育成をめざす学力】 ① 主体的、継続的に学習することによって、自らを向上させようとする自己学習力 ② 漢字・語句・文法等の、文章読解の基礎的な力をつけて、学習活動や生活の場で活用する力 ③ 多様な文章（説明文、小説、詩歌、古典等）を要約し、内容を読解する力 ④ 社会や文化、自分の生き方について考え、理解を深めて、自分の意見を築き、表現する力 ⑤ 出題形式に応じて、適切な解答をつくる力							
【評価基準・評価項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字、文法等の基礎的知識を習得し、活用できる。 ・ 古典の文章全体の内容を理解できる。 ・ 説明文の要約作成、読解ができる。 ・ 小説や詩歌に描かれた心情等を読み取り、読解ができる。 ・ 様々な文章を題材に、自らの意見を構築、表現できる。 							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	詩「岩が」小説「握手」						
5月	読み方を学ぼう「批判的に読む」とは 評論「間の文化」						
6月	俳句「俳句の世界」「俳句十句」						
7月	随想「希望」 批評文「観察・分析をとおして評価する」 書写						
8月	論説「フロン規制の物語〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざままで」						
9月	論説「フロン規制の物語〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざままで」						
10月	古文「和歌の世界」古文「おくのほそ道」						
11月	漢文「論語」 論説「情報化社会を生きる メディア・リテラシー」						
12月	詩「初恋」小説「故郷」						
1月	論説「『文殊の知恵』の時代」文法のまとめ						
2月	小説「坊ちゃん」						
3月	読書の広場 書写						

教科 科目	社会3（公民分野）	学 年	3年	単 位	4単位	担 当	瀧澤 優子 室田 悠子
<p>【科目の概要】 人間はより幸せな暮らしを求めて「社会」をつくり、「社会」で生きてきた。「社会科」とは幸せに生きるために人々が工夫をこらし、様々な課題に立ち向かっていながらつくっていった「社会」と「社会」で生きている「人間」を学ぶ教科である。「社会と人間」を見る範囲を自分の周囲から日本全体へ、世界全体に広げるために「地理的分野」を学び、「社会と人間」の歩みを知るために「歴史的分野」を学んできた。3学年はその総決算として、今まで学んだことを活用しながら今現在の「社会」のしくみとその目的を学び、現代の「社会」が抱える課題を知り、改善の方法を探り、より幸せな「社会」をつくるために何をすべきかを考えていく。</p>							
<p>【育成をめざす学力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近現代の歴史および現代の日本の政治・経済や国際社会を理解するために必要な基本用語を習得する力 ・日本国憲法から日本の政治のしくみと意義を理解する力 ・資料から現代日本の政治や経済、国際社会のようすを読み取る力 ・学習内容から現代日本の政治や経済、国際社会の課題を発見し、説明する力 ・自己の価値観から「あるべき社会の姿」を考え、社会の課題を解決する策を提示する力 ・学習活動を通じて社会科学習の意義を理解し、現代社会への興味・関心を喚起する力 ・学習活動を通じて自己の学習状況や学習姿勢を検証し、改善する力 							
<p>【評価基準・評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本用語を正確に暗記し、表記できる（社A①） ・現代社会の特徴を把握するために基本用語を整理・説明できる（社A②・③） ・提示された資料から現代社会の特徴を読み取ることができる（社A④） ・現代社会の社会観や人間観について、自己の価値観に照らし合わせて評価・説明できる（社B③） ・現代の人間や社会の問題点を独自の視点から設定・問題点の方策を考えることができる（社C①・②・⑤） ・自己の社会改善策の立案・提示の過程を通じて学習意義を発見、人間・社会への興味・関心を喚起できる（社C⑦） 							
<p>【年間指導単元・内容と学習活動】</p>							
4月 5月 6月 7月 8月	地理：日本地理の仕上げ 歴史： 第5章 開国と近代日本の歩み 第6章 二度の世界大戦と日本	公民：第4章 わたしたちの暮らしと経済 1、暮らしと経済 2、生産と活動 3、価格の働きと金融 4、国民生活と福祉					
9月 10月 11月 12月	歴史：第7章 現代の日本と世界 公民：第2章 人間の尊重と日本国憲法 1、人権と日本国憲法 2、人権と共生 社会 3、これからの人権保障 公民：第3章 現代の民主政治と社会 1、現代の民主政治 2、国の政治の しくみ 3、地方の政治と自治	第1章 私たちの生活と現代社会 1、現代社会とわたしたちの生活 2、わたしたちの生活と文化 3、現代社会の見方や考え方					
1月	中学社会科学習の総復習						
2月 3月	公民：第5章 地球社会と私たち 1、国際社会と私たち 2、国際問題と私たち						

教科 科目	数学3	学 年	3年	単 位	4単位 +演習1	担 当	脇田 祥弥 山本 弦
【科目の概要】 平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また2次方程式について理解し、式を能率的に活用できるようにする。関数 $y = ax^2$ について理解し、関数関係を見出し、考察し表現する。図形の相似、三平方の定理について理解し、それらを図形の性質の考察や計量に用いる。							
【育成をめざす学力】 ① 学習の基盤となる基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力 (F, G) ② いろいろな問題の解決に向けて、根拠を明らかにし、筋道を立て、体系的に考えることのできる力 (C, D) ③ いろいろな問題の解決に向けて、言葉や数、式、図、表、グラフなどの関連を理解し、活用できる力 (A, B) ④ 学習活動を通して、自分の考えを説明、表現できる力。(E) ⑤ 数学を学ぶ意欲を高め数学的な見方や考え方のよさを実感し、それらを通して考え判断できる力 (D)							
【評価基準・評価項目】 ① 正の数の平方根を理解し、それを用いることができる。 ② 式の展開や因数分解ができ、目的に応じて式が変形できる。 ③ 2次方程式を理解し、それを用いて問題解決ができる。 ④ 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応から $y = ax^2$ の関数関係を見出し、表現・考察できる。 ⑤ 相似条件を基にして図形の性質を確かめ、論理的に考察し表現できる。 ⑥ 三平方の定理を理解し、それを用いることができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	既習事項の復習						【実力テスト】
5月	2章 平方根	2節	①根号を含む式の乗法・除法 ②加法・減法 ③いろいろな計算				
6月	3章 2次方程式	1節	①2次方程式とその解 ②2次方程式の解き方 (因数分解・平方根・解の公式)				
7月							
7月	4章 関数 $y = ax^2$	2節	①2次方程式を利用する問題 演習問題				
		1節	①2乗に比例する関数 ②関数 $y = ax^2$ のグラフ				
			③関数 $y = ax^2$ の値の変化				【1学期期末考査】
7月		2節	①関数 $y = ax^2$ の利用 ②いろいろな関数				
8月	演習問題						
9月	5章 相似	1節	相似な図形 ①相似な図形の性質 ②三角形の相似条件 ③縮図の利用				【実力考査】
		2節	平行線と線分の比①三角形と比 ②中点連結定理 ③平行線と線分の比				
10月		3節	面積の比、体積の比①三角形の面積と線分の比 ②相似な図形の面積の比				
			③相似な立体の表面積の比、体積の比				
		演習問題					
	6章 円	1節	①円周角の定理 ②円周角の定理の逆 ③円の性質の利用				【2学期中間考査】
11月	接弦、内接する四角形、方べきの定理						
	7章 三平方の定理	1節	①三平方の定理 ②三平方の定理の逆				
12月		2節	①平面図形への利用 ②空間図形への利用 3年間の実力問題				
	8章 標本調査	1節	①母集団と標本 ②標本調査の活用				【2学期期末考査】
1月	3年間の実力問題						【実力考査 (ベネッセ)】
2・3月	数学I (式の計算)						【学年末考査】

教科 科目	理科3	学 年	3年	単 位	5単位	担 当	挾間田 一誠 廣田 裕枝
<p>【科目の概要】</p> <p>〈単元1 運動とエネルギー〉物体の運動やエネルギーに関する観察、実験を通して、物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて運動とエネルギーの初歩的な見方や考え方を養います。</p> <p>〈単元2 生命のつながり〉身近な生物についての観察、実験を通して、生物の成長とふえ方、遺伝現象について理解するとともに、生命の連続性について認識を深めます。</p> <p>〈単元3 自然界のつながり〉土の中の生物のはたらきを理解するとともに、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて認識を深めます。</p> <p>〈単元4 化学変化とイオン〉化学変化についての観察、実験を通して、水溶液の電気伝導性や中和反応について理解するとともに、これらの事象・現象をイオンのモデルと関連づけてみる見方や考え方を養います。</p> <p>〈単元5 地球と宇宙〉身近な天体の観察を通して、地球の運動について考察するとともに、太陽や惑星の特徴および月の運動と見え方を理解し、太陽系や恒星など宇宙についての認識を深めます。</p> <p>〈単元6 地球の明るい未来のために〉自然と人間のかかわり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について科学的に考察し、判断する態度を養います。エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について科学的に考察し判断する態度を養います。</p> <p>4月から中学3年間の総復習を始め、2月からは高校化学の基礎となる部分を学習します。</p>							
<p>【育成をめざす学力】</p> <p>(1) 理科の基本的な概念や原理・法則の理解 (2) 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能、安全管理 (3) 自ら問題を見だし、見通しをもって観察、実験する力 (4) 実験結果を分析し、特徴、規則性や関係性を見だし、表現する力 (5) 自然の事物・現象に興味関心をもち、自ら学び、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究する態度 (6) 文章、図、グラフ、表などを読み取る読解力 (7) 共同学習において、他者を尊重し、協力する態度 (8) 自然環境の保全と科学技術の在り方について、科学的に考察する態度</p>							
<p>【評価基準・評価項目】</p> <p>(1) 理科の基本的な概念や原理・法則を理解している (2) 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている (3) 自ら問題を見だし、見通しをもって観察、実験することができ、安全に実験・観察をしている (4) 実験結果を分析し、規則性や関係性を見だし、表現することができる (5) 自然の事物・現象に興味関心をもち、自ら学び、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究している (6) 文章、図、グラフ、表などを読み取ることができる (7) 共同学習において、他者を尊重し、協力している (8) 自然環境の保全と科学技術の在り方について、科学的に考察できている</p>							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	力の合成と分解	水中の物体に加わる力	物体の運動				3年間の総復習
5月	物体の運動	仕事とエネルギー				3年間の総復習	
6月	生物の成長とふえ方	遺伝の規則性と遺伝子				3年間の総復習	
7月	生物の種類の多様性と進化	生物同士のつながり				3年間の総復習	
8月	自然界を循環する物質	水溶液とイオン				3年間の総復習	
9月	化学変化と電池	酸・アルカリとイオン				3年間の総復習	
10月	天体の動き	月と惑星の運動				3年間の総復習	
11月	宇宙の中の地球	自然科学と人間				3年間の総復習	
12月	科学技術と人間				3年間の総復習		
1月	3年間の総復習						
2月	高校化学の基礎（これより4年次の内容）						
3月	高校化学の基礎						

教科 科目	音楽3	学年	3年	単 位	1単位	担 当	爲頼 康子
【科目の概要】							
週1時間の授業を通して、より深い内容の音楽学習を行います。鍵盤楽器やリコーダーなど、身近な楽器の歴史について知識を深める機会を持ちます。また音楽史の授業では、1年次から学習してきた各時代の鑑賞曲を、歴史的な観点から系統だてながら整理していきます。							
【育成をめざす学力】							
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習した知識をふまえ、音楽というものを深く考えようとする力。 ・音楽史を通して、各時代の音楽の特徴的な響きを感じ取る力。 							
【評価基準・評価項目】							
<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に授業に参加することが出来る。 ・身近な楽器への興味・関心を持つことが出来る。 ・周囲の響きに調和させて表現活動が出来る。 ・各時代の音楽の特徴を理解し、感じ取ることが出来る。 							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。 「花」						
5月	作曲者の思いを感じとろう 交響詩「ブルタバ（モルダウ）」						
6月	讃美歌コンクールに向けて						
7月	讃美歌コンクールに向けて 1学期のまとめ 期末考査						
8月	讃美歌コンクールに向けて						
9月	旋律の美しさを感じとろう 「花の街」						
10月	曲想を感じとりながら表現豊かに歌おう 「帰れソレントへ」 クリスマス礼拝準備（「ハレルヤコーラス練習」）						
11月	クリスマス礼拝準備（「ハレルヤコーラス練習」） 実技テスト（歌唱）						
12月	クリスマスの讃美歌に親しもう クリスマス礼拝準備（「ハレルヤコーラス練習」） アルトリコーダーの演奏を楽しもう（クリスマスソング） 2学期のまとめ 期末考査						
1月	曲の背景を知って名曲を味わおう 「アランフェス協奏曲」から第2楽章 音楽史について理解を深めよう						
2月	実技テスト（アルトリコーダー） 学年末考査						
3月	情景を思い浮かべながら表情豊かに歌おう 「早春賦」 中学校3年間のまとめ						

教科 科目	美術3	学 年	3年	単 位	1単位	担 当	竹富 栄治
【科目の概要】 さまざまな作品から視覚表現の可能性を学び、個性的な表現方法を考案し制作します。また、鑑賞以外の目的・用途のある生活の中に生きる美術のあり方を、制作を通して学びます。							
【育成をめざす学力】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然物・人工物に目を向けその価値を見出し、その背景を想像していこうとする力 ・ 民族・地域・時代による美的価値の違いに興味関心を持ち理解する力 ・ 表現することに価値を置き有効な表現手段を探り、表現する力 							
【評価基準・評価項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いや考えを、表現・発表することができる ・ 造形的な視点に立ち周囲の自然物や人工物の良さや美しさを発見し、自らの独創的な表現につなげることができる ・ 美術の変遷を影響と発展の観点から理解することができる ・ 自ら構想した物を形や色、材料や道具を工夫して視覚化することができる ・ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現することに取り組もうとしている ・ 作品を鑑賞し、自分なりに良さを発見することや作者の思いや工夫に触れることに主体的に取り組もうとしている 							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	版画の技術を学ぶ 幻想の世界 想像の世界を描いた作品を鑑賞する 想像の世界を描く						
5月							
6月							
7月							
8月							
9月	相互評価 生活の中に生きるデザインを考える 服飾 製品 空間						
10月							
11月							
12月							
1月	伝えたい情報を視覚化する プランニング 現代の美術を鑑賞する						
2月							
3月							

教科 科目	保健体育 体育	学 年	3年	単 位	2単位	担 当	浦元 久美子
【科目の概要】							
心と体を一体としてとらえ、健康の保持増進のための実践力の育成と体力向上を図り、自己の能力に適した課題を持って取り組む姿勢を養う。また、チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようにする。							
【育成をめざす学力】							
◇互いに協力して自己の役割を自覚し、チームの課題や自己の能力に適した解決を目指し、勝敗に対して公正な態度が取れるようにする。							
【評価基準・評価項目】							
<ul style="list-style-type: none"> ・個人やグループで、課題に対して計画的に練習し、発表ができる。 ・グループで協力して、ルールを守り、積極的に授業に取り組むことができる。 							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4・5月	1 体育実技の受け方のオリエンテーション・体育祭の練習						
6月	2 集団行動 3 バレーボール ①オーバーハンドパス、アンダーハンドパス						
7・8月	②サーブ③評価④ゲーム ⑤ゲーム						
9月	4 フラッグフットボール ① パス・キャッチ、フラッグをとる・かわす						
10月	②チーム練習（作戦計画） ③ミニゲーム						
11月	④評価 ⑤ゲーム						
12月	5 創作ダンス ①オリエンテーション ②ダンスの基礎						
1月	③班で選曲・ストーリー作り ④創作						
2月	⑤創作						
3月	⑥班別で発表・評価						

教科 科目	保健体育 保健	学年	3年	単 位	1単位	担 当	浦元久美子
【科目の概要】 個人における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。							
【育成をめざす学力】 ① 健康と環境について理解できるようにする。 ② 傷害の防止について理解を深めることができるようにする。 ③ 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。							
【評価基準・評価項目】 ・ 個人及び、集団における健康、安全について理解できる。 ・ 健康に対する正しい理解のもと、意思決定や行動の選択ができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4・5月	1 オリエンテーション 1. 環境の変化には体はどう対処するか						
6月	2 健康に左右するもの 3 運動と健康 4 食事と健康						
7月	5 生活習慣病とその予防 1学期期末考査（評価）						
8月	6 休養・睡眠と健康						
9月	7 喫煙と健康 8 飲酒と健康 9 薬物と健康						
10月	10 感染症と病原体 11 感染症と予防 救急救命講習※消防署による救急処置の講習を実施						
11月	12 性感染症の予防 13 エイズの予防 14 医薬品の正しい使い方 2学期期末考査（評価）						
12月	15 医療・保健機関とその利用 16 個人の健康を守る						
1月	17 けがの防止と健康 18 交通事故によるけがの防止						
2月	19 犯罪被害の防止 20 自然災害への備えと避難 学年末考査（評価）						
3月	21 応急手当の基本						

教科 科目	技術・家庭3	学 年	3年	単 位	1単位	担 当	内田 絵理香
<p>【科目の概要】</p> <p>技術・家庭科では、よりよい生活をしていくために、生活に必要な知識や技術を理解し、実際の生活の中でいろいろな課題を解決する方法を学びます。生活するためには、知っているだけでなく、実際に手や体を動かして体験することが必要です。そのために実習を行い、その過程で生活を工夫し、創造する能力やものをつくる技術を習得します。また、生活の基盤である家庭の役割や、家族や周囲の人々の支え合いの大切さについて学び、周囲の人々との豊かなかかわり方を工夫したり、自分のくらしと環境のかかわりについて考えたりして、実践する力を養います。これらの学習を通して生活の自立と共生のための基礎的な考え方や知識・技術を身につけ、生活を工夫し、創造するのが教科の目的です。</p>							
<p>【育成をめざす学力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を収集し、活用する力 ・課題に対して様々な角度から考える力 ・自分の考えをまとめる力 ・生活の自立と共生のために必要な力 ・生活をよりよいものに改善していこうとする意欲や創意工夫する力 							
<p>【評価基準・評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住生活、消費生活、情報についての基本的知識・技術を習得できている。 ・安全に配慮し、グループのメンバーと協力して実習を行うことができる。 ・生活の創意工夫をすることができる。 ・学習内容に関するスクラップブックを作成し、その内容を要約して発表することができる。 ・必要な情報を収集し、自分の考えをまとめて発表することができる。 							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月～ 7月	<p>「わたしたちの住生活」</p> <p>1 住生活と自立</p> <p>(1) 住まいの役割と住まい方を考えよう (2) 住まいの安全について考えよう</p> <p>(3) 災害に備えた住まい方について考えよう (4) 健康で快適な室内環境を工夫しよう</p> <p>(5) よりよい住生活を目指して</p>						
8月～ 12月	<p>「情報に関する技術」</p> <p>1 コンピュータと情報通信ネットワーク</p> <p>(1) コンピュータの仕組みを知ろう (2) デジタル化について考えよう</p> <p>(3) データ量について考えよう (4) 情報通信ネットワークの仕組みを知ろう</p> <p>(5) 情報セキュリティ技術を知ろう (6) 情報を安全に利用しよう</p> <p>2 デジタル作品の設計</p> <p>(1) デジタル作品の特徴を考えよう</p>						
1月～ 3月	<p>「わたしたちの消費生活と環境」</p> <p>1 わたしたちの消費生活</p> <p>(1) 消費者としての自覚を持とう (2) 販売方法と支払い方法について知ろう</p> <p>(3) 商品の選択と購入について考えよう (4) 消費者トラブルを解決する方法を考えよう</p> <p>(5) 消費者の権利と責任について考えよう (6) よりよい消費生活を目指して</p> <p>2 環境に配慮した消費生活</p> <p>(1) エネルギー消費を減らす方法を考えよう (2) 持続可能な社会を目指そう</p>						

教科 科目	英語 3	学 年	3 年	単 位	6. 5 単位	担 当	千葉敦子・古賀直美 天野ムチャレジス・山口昭子
【科目の概要】 世界中に幾つとなく存在する言語，それら全てを習得することは不可能ですが，世界公用語といわれる英語を習得すると，世界中の人と話ができます。英語を通して他国の文化・社会・生活に興味を持ち，自分たちの視野を広げましょう。この科目は全 6 単位のうち，1.5 単位をティームティーチングで行い，より多くの情報量の英語を聞き，適切な対応ができる力と自分の考えを英語で表現する力を養っていきます。5 単位は教科書，問題集を活用し，中学校英語の集大成をしていきます。							
【育成をめざす学力】 Reading 速くそして正確に英文の内容を読み取る力 Listening 目的をもって展開を予測しながら聴き，内容を把握する力 Speaking / Writing 身近な話題について自ら考え，積極的に英語で表現する力							
【評価基準・評価項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ Reading： 高校入試長文程度の英文を読んで，理解することができる。 Chunk ごとに正しく切って読むことができる。 ・ Listening： 日常的な話題についての英語を聞いて，大意を把握することができる。 ネイティブの先生の指示を正確に理解することができる。 ・ Speaking： 日常的な話題について，ネイティブスピーカーと対話できる。(英検 3 級レベル)。 自分自身や身近な話題について，1 分間のスピーチをすることができる。 日本の文化・習慣について，簡単な英語で説明することができる。 ・ Writing： 身近な話題について 80 語程度の英文で，自分の考えや意見を書くことができる。 							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	1・2 年生の復習（現在完了、不規則動詞の活用）						
5 月	Program 1 不定詞・動名詞						
6 月	Program 1～2 いろいろな疑問文・間接疑問文・接続詞						
7 月	Program 3 文型・使役動詞						
8 月							
9 月	Reading 1 動詞・未来の文・助動詞						
10 月	Program 4～5 受け身・分詞						
11 月	Program 5～6 関係代名詞						
12 月	Program 7、Reading 2 比較・仮定法過去						
1 月	英文読解&文法演習						
2 月	英文読解&文法演習						
3 月	英文読解&文法演習						

教科 科目	聖書	学 年	3年	単 位	1単位	担 当	塩屋 優子
【科目の概要】 1年次からの継続で、「キリストの宣教活動と教会」について新約聖書から学ぶ。新約聖書のキリストの教えと十字架と復活、初代教会の学びを通してキリストへ向かう。							
【育成をめざす学力】 A. 聖書と教会を理解するための知識を習得し、整理する力。 B. 知識を活用（分類・分析）して聖書や教会を解釈する力。 C. 知識を活用（分類・分析）して自分自身の将来像を展望する力。							
【評価基準・評価項目】 ・新約聖書の福音書を通し、キリストの教えと活動を理解し、自らの生き方につなげる。 ・新約聖書の使徒言行録と手紙を通して、初代教会とキリスト教の広がりについて学び、世界へ目を向ける。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	① キリストの教え		①新しい掟				
5月	② 善いサマリヤ人のたとえ		③放蕩息子のたとえ				
	② キリストの活動～奇蹟						
6月	③ キリストの活動～いやし		①イエスの服に触れる				
7月	①④迷い出た羊のたとえ		⑥タラントンのたとえ				
8月	③②ヤイロの娘						
9月	④ キリストとの出会い		①香油の女		②ザアカイ		
10月	⑤ 十字架と復活		①ろばの子		②神殿		③最後の晚餐
11月	④ゲッセマネの祈り		⑤十字架		⑥埋葬		
12月	⑦復活						
1月	⑥ 初代教会		①ペンテコステ		②ペトロとヨハネ		③ステファノ
2月	⑦ パウロの宣教活動						
3月	⑧ パウロの手紙						

教科 科目	インテグレーション3	学 年	3年	単 位	1単位	担 当	3学年教師
【科目の概要】 integrationは“統合”を意味し、異なる教科の担当教師が協働で学年目標に沿った授業計画を作成して行う本校独自の設定教科です。3学年では、①進路学習、②語彙力・表現力学習、③修学旅行（語学研修）に向けた準備の活動を通して、学年目標である「自分の考えを表現，行動できる生徒」を目ざして学習をすすめていきます。また、表現するための基礎となる語彙力や文章力を高めるための学習も取り入れていきます。							
【育成をめざす学力】 グループで協力して取り組む力 メディアを活用した情報収集、情報分析、情報整理をする力 調べた内容についてレポート発表をする力 日本や世界への理解を深め、積極的に外国の人と関わる力 コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力 小論文作成をする力							
【評価基準・評価項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・学級やグループの仲間と協力して活動することができる ・情報を収集し、それを自分の言葉で整理できる。 ・調べたことを作品やレポートを作成することができる ・学習したことを論理的に文章や作品にして発表（プレゼンテーション）することができる ・英語でコミュニケーションができる ・自分の考えや意見を小論文として描くことができる 							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4月	読解力・語彙力向上プログラム コラム学習						
5月	学部学科調べ 読解力・語彙力向上プログラム コラム学習						
6月	学部学科調べ 読解力・語彙力向上プログラム コラム学習 服のチカラプロジェクト						
7月	学部学科調べ 読解力・語彙力向上プログラム コラム学習 服のチカラプロジェクト						
8月							
9月	服のチカラプロジェクト コラム学習						
10月	服のチカラプロジェクト 読解力・語彙力向上プログラム 小論文模試						
11月	修学旅行事前学習 服のチカラプロジェクト						
12月	クラス編成テスト模擬試験						
1月	クラス編成テスト模擬試験						
2月	修学旅行事前学習						
3月	西南イングリッシュデイ セカンドプログラム準備						